

(1)「高評価」が多数だった項目 ◎

項目番号	内容	分析等
9	いじめ・不登校はいつでも起こり得るととらえ、欠席の児童や不登校傾向の児童への積極的な対応ができたか。(愛の123運動+1)	保護者、児童、職員のいずれにおいても、高い評価となっている。児童の欠席状況や友達関係、家庭環境等も踏まえて、家庭との連絡を密にとり、対応にあたることができている。今後も、アンテナを多く立て、組織としての対応を行っていききたい。
14	学校行事における安全指導および、施設設備の点検は徹底できたか。	毎月15日を安全点検の日に設定し、担当箇所をローテーションしながら、目で見ただけでなく触ったり動かしたりしながら確認を行っている。今年度は、安全点検を掃除の時間に設定し実施している。児童は、無言清掃をしながら、職員の様子を垣間見ることになるので、職員の真剣な姿から安全の重要性への意識も高まってきていると感じられる。

(2)「低評価」が多数だった項目 ▲

19 ● (重点)	自分なりの問いを立て、探り、新たな問いへとつながる「探求的な学び」の展開を図ることができたか。	主体的に学ぶ姿を目標に、日々の授業の工夫改善を行っているが、児童・職員においては評価が低い。学力差の大きい学級や基礎・基本の定着ができていない児童もいるため、実態に応じた授業を模索している。児童が「解決したい」「もっと調べてみたい」と思えるような課題設定、導入、発問の工夫を行っている。また、教師が研修等で学ぶ機会の確保や教師同士の学び合いも大切にしていく。
21	日常的に正しい言葉(敬語等)を使える環境を整えることができているか。	保護者、児童において評価が低い。相手や場所等を考えて、正しい言葉遣いをすることができるように、家庭と学校が連携しながら指導をしていく。学級懇談や通信においても、啓発を図っていく。

(3)全対象者が3以上の評価 ◎

8	毎月の生活目標を学級化し、「是は是、非は非」の積極的生徒指導が実践できたか。	毎月、学校全体の生活目標を軸に、学級として取り組むことを具体的な形として提示している。また、朝の会や帰りの会等を活用して取組状況を確認したり、月末に振り返りを行って、自分たちの成長や課題を明確にする時間を大切に積み重ねている。また、校長先生の「ありがたの合言葉」を全職員が意識して、児童に投げかけていることで、「是は是、非は非」等の意識・態度の向上につながっている。
10 ● (重点)	安心と信頼にあふれる、高め合う人間関係(含学級)づくりに努めているか。	学校や学級が安心できる場所、安心できる人間関係づくりが推進できている。今後も、児童一人一人の表情や背景、成長や変化を全職員で把握し、情報共有(児童理解タイム、いじめ・不登校対策委員会)しながら、健全な成長を図っていけるように組織として対応していく。重点指導項目でもあるので、引き続き心のアンケートでの小さなつづやきを拾ったり、アイチェック、QUチェック等の客観的なデータを活用したりしながら対応をしていく。
13	危険予測学習を行い、自分の命は自分で守るための方法を考えさせる指導ができたか。	避難訓練(不審者・火災・地震)において、課題や専門機関からの指導に基づき、前年度踏襲にならないような計画を立てて実施している。1学期は、町の防災課や県危機管理防災課を招き、防災学習を行った。職員研修においても、救急救命法(AED、アレルギーへの対応)を行い、児童の命を守る意識と体制づくりを行っている。
14	学校行事における安全指導および、施設設備の点検は徹底できたか。	上記に記入(重複項目)
22	一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができたか。(☆新設)	学力差の大きい学級、個性豊かな児童が多い。学級や個人の実態に合わせて授業展開や教材の工夫を行っている。また、4人支援員が個性をよく理解しながら支援を行っていることが、この高い評価につながっている。支援員からの情報は大変貴重であり、指導に大変役立っている。マンパワー不足をなんとか補っているのも、支援員の存在が大きい。

(4)保護者の評価「R6とR7の比較」

ほとんどの項目において、0.1~0.3ポイント上の評価であった。下回った項目は、以下の1項目のみ。

16	お子様は、適切に食べることや睡眠の大切さを分かっていますか。	R6より0.3ポイント下回った。1、2学期に、メディアコントロール調査(睡眠時間やメディアの使用時間)についての調査を行い、家庭で今の生活を振り返る取組を行っており、結果はよくなってきている。(別紙「はげんだより裏面」参照) しかし、評価項目内でのポイントは下がっているため、保護者の食事や睡眠、メディアの使用等の基本的な生活習慣をしっかりと身に付けさせたいという意識が向上しているとも捉えられる。引き続き、家庭と学校が連携して、取組の工夫を行っていききたい。
----	--------------------------------	---